

地域計画

策定年月日	令和6年度(令和7年2月28日)
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	松川町 20402
地域名 (地域内農業集落名)	上片桐 片桐3地区 (上町、町谷、中荒町)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	113.55 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	101.1 ha
② 田の面積	32.74 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	79.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	9.78 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	56.63 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	40.83 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

基盤整備が行われている地域があり、中荒町一帯の水田は整備されており、比較的農地の貸し借りも停滞せずに行われている。標高の高い地域では、専業農家が多く、果樹に適した農地が広がるが、鳥獣害などの被害も大きい。さらに、農地と宅地が混在しており、栽培品目が様々で集約化しづらい。小規模経営では収入につながらず、生計をたてづらい

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

技術のある農家がいるなかで、移住者の呼び込みをするため、研修制度を作り出す。組織的な集団経営を検討。法人化を目指す。また、非農家による遊休農地の活用とを実施。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
新たな担い手を育成、また地域での法人化で、農地の利用、効率的な利用を目指す。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	90	%	将来の目標とする集積率
			%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
兼業農家を想定して計画を進めていくのであれば、必ずしも集積・集約は必要とせず、むしろ小規模でも耕作できる体制。 現状としては兼業農家が大半を占めている状況とはいえ、専門化を希望する農業者の存在も否定できない。まずはそのような地域内の意向を把握することが必要。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地の貸借を希望は多く、地権者が次世代の農業者へ農地を貸したり、売ったりできる体制の整備を進めるために、中間管理機構の適切な活用を実施。
(3)基盤整備事業への取組
法人経営の検討を進めれば、基盤整備事業により、さらなる機械化や効率化を可能とする農地の整備も検討の余地がある。その一方で、従来のような区画を大規模化する整備に限らず、小規模な耕作や「農ある暮らし」ができるような環境整備のための事業導入も検討。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
話し合いでは兼業農家や定年帰農者の支援が議論された。これらは今後の担い兼業農家や定年帰農者の支援を行い、今後の担い手として期待。地域内で農業や営農を希望する人々の考えを把握し、それに即した有機農業をはじめとする栽培の指導や育成方法を検討。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
町内には一般社団法人グリーンみらいが設立された。農作業の委託先としての活用を期待

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

鳥獣被害防止対策協議会との連携で農地を守る活動を。環境に配慮した農業を実施。将来的に営農組合を設立し、スマート農業の取り組みを検討。  
農地の保全、管理を、地域の担い手、法人、もろもろとの連携で継続を目指す。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。